

打合簿事例 1

打 合 簿

承認日 20〇〇年〇〇月〇〇日

監督職員 国際 太郎 ⑩

業務管理者 営業 一郎 ⑩

契約管理番号

案件名 AAA共和国・社会科教育向上プロジェクト詳細計画策定調査（教材開発）

打合項目	打合内容及び結果
1. 業務管理者 2. 渡航旅程の確認 3. 支払い請求のスケジュール	<p>監督職員と業務管理者は、標記契約の開始に当たって、以下のとおり確認した。</p> <p>1. 業務管理者を◇◇◇◇株式会社営業部長営業一郎とする。</p> <p>2. 11月上旬から25日の日程で、現地業務を行うこととする。 なお、渡航旅程を変更する必要がある場合は、別途両者で協議することとする。</p> <p>3. 業務管理者は、支払い請求のスケジュールについて、以下のとおり想定していることを監督職員に報告した。</p> <p>(1) 前金払（11月中旬）： * , ** , *** 円（契約金額の40%） (2) 中間概算払： なし (3) 精算払（3月上旬）： * , ** , *** 円（契約金額の60%）</p> <p style="text-align: right;">以上</p>



打 合 簿

承認日 20〇〇年〇〇月〇〇日

監督職員 国際 太郎 印

業務管理者 営業 一郎 印

契約管理番号

案件名 EEE共和国・教員育成プロジェクト終了時評価調査（評価分析）

打合項目	打合内容及び結果
<p>現地業務日程の変更</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>現地業務人月が2M/M（個人コンサルタントは3M/M）を超え、12M/M以下の場合、現地業務日数の増減により現地業務人月に対するその他原価率変動します。</p> <p>その場合は、打合簿に変更前後のその他原価率を記載してください。（記載例）</p> <p>【その他原価率】 現地業務人月に対するその他原価率は〇〇%であったが、上記日程変更に伴い、〇〇%に変更する。</p> </div>	<p>監督職員と業務管理者は、標記契約に係る業務従事者の現地業務日程の変更について、以下のとおり合意した。なお、業務内容及び契約人月に変更はない。</p> <p>ただし、現地業務期間の延長に伴い、その他原価、一般管理費等、日当・宿泊料及び戦争特約保険料については、実績に応じて精算（増額の場合は、必要に応じ契約金額を超えて精算）するものとする。</p> <p>【日程の変更】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 変更前日程                     <ul style="list-style-type: none"> <li>国内業務：2013年1月26日～1月30日（0.25人月）</li> <li>現地業務：2013年2月1日～2月14日（0.47人月）</li> <li>国内業務：2013年2月18日～2月22日（0.25人月）</li> </ul> </li> <li>2. 変更後日程                     <ul style="list-style-type: none"> <li>国内業務：2013年1月26日～1月30日（0.25人月）</li> <li>現地業務：2013年2月1日～2月16日（0.53人月）</li> <li>国内業務：2013年2月18日～2月21日（0.19人月）</li> </ul> </li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【解説】 変更後日程の帰国後の国内業務人月は0.19人月で、期間としては4日間となっています。これは、「業務内容に変更がないため、全体人月に変更されない。」との原則に基づき、0.19人月と算定したものの、日数として割り切れないため、期間の記載としては繰り上げて4日間としたものです。</p> <p>なお、精算報告書の作業工程計画・実績対比表では、国内日数に端数が出る場合は端数のまま記載してください（現地業務では日当・宿泊料が生じるため、業務日数は必ず整数とし、端数部分は国内日数で調整してください。）。</p> </div> <p>【変更理由】 先方教員養成大学側の都合により、合同評価会議が2月14日に設定されたため、帰国旅程を延期し、国内作業として想定していた取りまとめ作業の一部を現地作業として実施する。</p> <p>【その他原価率】 現地業務人月に対するその他原価率は110%で、変更はない。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

## 打 合 簿

承認日：20〇〇年〇〇月〇〇日

監督職員 国際 太郎 ㊟

業務管理者 協力 花子 ㊟

案件名 FFF 共和国・配電効率化プロジェクト（チーフアドバイザー業務）

打合項目	打合内容及び結果
<p>自己都合による現地業務期間の一時中断</p>	<p>業務管理者は、業務従事者の現地業務期間について、自己都合による以下の一時中断を申し入れ、監督職員は、業務上特に支障がないとして、これを承諾した。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">             現地出発日、現地到着日を含む離脱日数         </div> <p>【中断の期間】 2013 年 6 月 23 日～6 月 25 日</p> <p>【渡航先】 PPP 共和国〇〇〇〇〇市</p> <p>【中断に際しての経費の取扱い】 現地業務を中断する 6 月 23 日から 6 月 25 日までの 3 日間については、業務従事期間の対象とはせず、以下の経費の支給を支給しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直接人件費</li> <li>・その他原価</li> <li>・一般管理費等</li> <li>・日当・宿泊料（日当 3 日分、宿泊料 2 泊分を対象外とする。）</li> <li>・戦争特約保険料</li> </ul> <p>また、PPP 共和国渡航に係る経費（航空賃等）も支給しない。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

打 合 簿

承認日 20〇〇年〇〇月〇〇日

監督職員 国際 太郎 ⑩

業務管理者 営業 一郎 ⑩

契約管理番号

案件名 G G G 共和国・民法草案作成プロジェクト（債権法）

打合項目	打合内容及び結果
報告書等の提出	<p>業務管理者は、契約書仕様書の規定に基づき、以下の報告書を監督職員に提出した。 監督職員は、内容を確認し、これを受領した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ E E E 共和国民法（債権法）草案（第一案）</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>